



知覧町 厚地

丸野 吾一

地域福祉の充実を

知覧庁舎より西へ1キロほど行き300メートル級の山々に囲まれた盆地が厚地地区です。山裾に沿って4キロほどに190戸の人家があります。米とでん粉用甘藷などを生産する兼業農家の多い地域です。一軒の商店もなく一台の自動販売機もないところで、平成19年10月に地区公民館独自で閉鎖した農協支所の建物を借り受けて生活用品や食品等を販売する店を開店しました。名称は地域の皆さんに公募し「あつちの店」としました。

一番喜んでくれた方は

自分で車を運転できない年配者で、これまで片道700円のタクシーを利用して近くの町へ買い物に行っていました。

店番は公民館の女性事務員がすることになりました。開店当初は経費を公民館と店で折半していましたが、6対4で営業できるまでになりました。

しかし時代は変わりました。店の経営不振で人件費が捻出できなくなり、今年の3月末をもって閉店しました。集落の人口も減り、空き家は年々増えていきます。これまで地域の福祉事業の一環としてやってきたが、集落の公民館ではなかなか地域の要望に 대응することが出来なくなりました。

議員の皆さん、地域の老人福祉のためにもっと力を注いでくださるようお願いいたします。

額娃町 郡

石窪 美由樹

安心安全な

南九州市を

私は縁があり、額娃の方と愛でたくゴールデンしました。新婚生活は鹿児島市でのスタートでしたが、子どもが誕生してからは、旦那のふるさとの額娃町での生活となりました。

美しい自然に囲まれて、のびのびと子育てを楽しんでいましたが、最近気になることは、やはり中国大陸からのPM2.5の飛来です。特に子どもの登下校時はとても気になります。PM2.5の濃度が鹿児島県内も高くなつたと報道があれば親としては、どう対応しているのか？市はどう考えているのか？学校は…など色々と考えます。

先月は鹿児島市内で最後の遠足も予定変更でマ

スク着用というニュースを見て、外で思いっきり遊びたかったのではないかと思います、同じ年頃の子を持つ親として残念でした。今後、子どもの身体に影響がないか不安に思うのは私だけでしょうか。

注意事項と言えば、不要不急の外出を減らすことや、呼吸器や循環器に疾患のある方は慎重に行動すること、と呼びかけをしています、それ以前に何か対策はないのでしょうか。

市民が安心安全に生活できるよう南九州市は、独自の測定を行い、市民に対して報告するなどの対策をしていただきたいと思っています。



議会を傍聴してみませんか！
次の議会は**6月18日**開会予定
※手続き簡単 本館2階で住所・氏名を書くだけ

編集後記

3月定例会にて、25年度当初予算も可決され新年度が始まりました。

広域消防も指宿南九州消防組合となり、また茶銘柄統一に向けて茶業課もワンフロアー化されるなど、新たな政策に対して市民から多くの期待と要望が寄せられると思う。

議会だよりにおいては研修で学んだことを活かし、誰もが分かるような言葉を選び、より身近な存在となつて、議員の役割を明確にして活性化していかなければならない。

誰もが手にして目を通していただけるような議会だよりの作成に努めた。ぜひ、期待していただきたい。

(吉永)

▼広報編集委員会

委員長 峯 勝
副委員長 田畑 浩一郎
委員 亀甲 俊博
委員 下窪 一輝

西 次雄
吉永 賢三